



# PROMT モードによる 分析時間の短縮

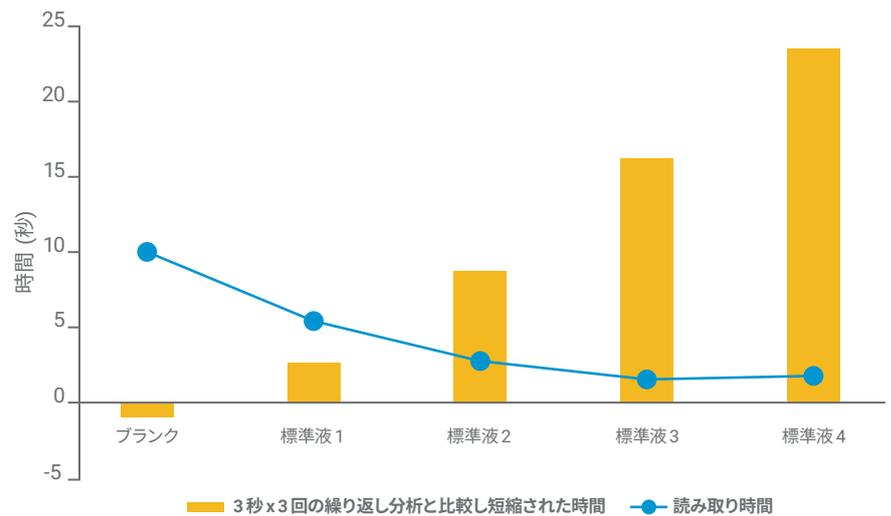
Agilent フレーン原子吸光

## PROMT モードの特長

- 特に高濃度のサンプルに対し、従来のフレイム原子吸光と比較し生産性が向上。より多くの試料を測定可能
- ガス消費量が減少することにより、ランニングコストを削減
- ファーストシーケンシャル (FS) 法と組み合わせることにより、分析時間がさらに短縮。ガス消費量と分析時間を 60% 以上コスト削減

## 精度を優先して、高速フレイム原子吸光を実現

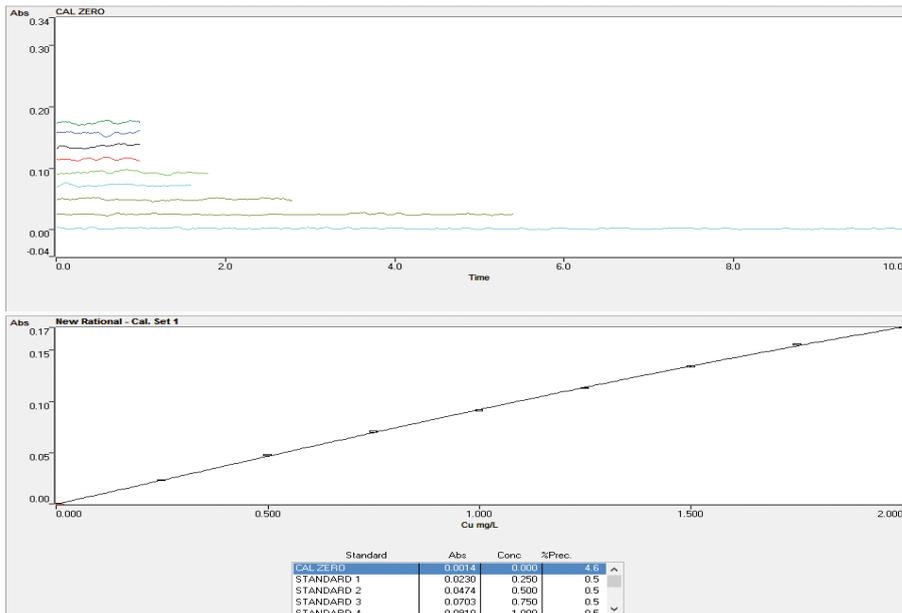
アジレントの 240FS AA および 280FS AA フレイム原子吸光分光光度計は、PROMT モードにより、分析結果に対して求められる精度 (%RSD) を設定することが可能です。高濃度の元素は低濃度の元素よりも短い読み取り時間で測定し、同じレベルの精度を実現。サンプル分析時間を最適化します。



溶液	濃度 (ppm)	Abs	読み取り時間 (秒)	% RSD	短縮時間* (秒)
ブランク	0	0.0015	10	4.6	-1
標準液 1	0.25	0.0230	5.4	0.5	2.6
標準液 2	0.5	0.0474	2.8	0.5	8.8
標準液 3	0.75	0.0703	1.6	0.5	16.2
標準液 4	1	0.0910	1.8	0.5	23.4

例:PROMT モードにより RSD 0.5% の設定で、波長 324.8 nm で 5 つのサンプル中の Cu を測定。3 秒 × 3 回の測定比較し、各サンプルに対する分析時間は半分以下に短縮されました。

\* 3 秒 × 3 回の繰り返し分析と比較し短縮された時間



この例の場合、積分時間の上限は 10 秒で、標準液とサンプルの精度はともに RSD 0.5% に設定しました。濃度が低すぎて精度が達成されない場合、ソフトウェアによって 10 秒間にわたり平均化されました。信号表 (上) が示しているとおり、高濃度の標準液はより短い時間で要求された RSD を達成しています。

ホームページ

[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

カスタムコンタクトセンタ

**0120-477-111**

**email\_japan@agilent.com**

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社  
 © Agilent Technologies, Inc. 2021  
 Printed in Japan, January 11, 2021  
 5991-8068JAJP  
 DE44206.8126967593

